

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Carbol Fuchsin Solution  
製品番号 : CFZ125, CFZ500, CFZ999 (メーカー略号: SCY)  
構成品名 : Carbol Fuchsin Solution  
会社名 : コスモ・バイオ株式会社  
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号  
担当部署 : 製品情報部  
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619  
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp  
推奨用途 : 試験研究用試薬

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

##### 健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1

生殖細胞変異原性: 区分 1B

発がん性: 区分 1A

生殖毒性: 区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(呼吸器、心血管系、腎臓、神経系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(心血管系、肝臓、消化管、血液系、腎臓、脾臓、胸腺、中枢神経系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(中枢神経系)

##### 環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

#### GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

#### 危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

遺伝性疾患のおそれ

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ(呼吸器、心血管系、腎臓、神経系)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

(心血管系、肝臓、消化管、血液系、腎臓、脾臓、胸腺、中枢神経系)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(中枢神経系)

水生生物に有害

#### 注意書き

##### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
 容器を密閉しておくこと。  
 容器を接地しアースをとること。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

#### 応急措置

火災の場合:指定された消火剤を使用すること。  
 特別な処置が必要である。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。  
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 眼に入った場合:水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

#### 貯蔵

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

#### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

#### 特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

慣用名又は別名:石炭酸、ヒドロキシベンゼン(フェノール)、エチルアルコール(エタノール)、マゼンタ I, ベイシックバイオレット14(塩基性フクシン)

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
フェノール	5.0	108-95-2	3-481
塩基性フクシン	≤0.5	632-99-5	5-1976
エタノール	≤10	64-17-5	2-202

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分 フェノール, エタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分 フェノール, 塩基性フクシン, エタノール

化管法(令和5年3月31日まで有効)「第1種指定化学物質」該当成分 フェノール

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分 フェノール

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

#### 皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。汚染された衣類は二重の袋に入れる。

皮膚を多量の水で洗うこと。少量の水はフェノールを希釈して面積を広げるため、多量の水で流すこと。

直ちに医師に連絡すること。

#### 眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

火気に注意する。

医師に対する特別な注意事項

腐食性/刺激性製品。寸秒でも早く皮膚の洗浄を始め、触れた物質を完全に洗い流す必要がある。

医師に暴露物質名、発がん性の高い物質であること、防護のための注意を通知する。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

水噴霧、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

#### 使ってはならない消火剤

##### 棒状放水

### 特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

#### 特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

区域より退避させること。

#### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

### 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。下水、排水中に流してはならない。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩物に皮膚が触れないように保護具着用の上、不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、ラベルを貼った密閉できる空容器に回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

#### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

#### 保管

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

常温で保存すること。

##### 安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(フェノール)

日本産衛学会(1978) 5ppm; 19mg/m<sup>3</sup> (皮)

(フェノール)

ACGIH(1996) TWA: 5ppm (上気道刺激; 肺損傷; 中枢神経系障害)

(エタノール)

ACGIH(2009) STEL: 1000ppm (上気道刺激)

特記事項

(フェノール)

皮膚吸収

#### ばく露防止

##### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

##### 保護具

###### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

###### 手の保護具

保護手袋を着用する。(耐薬品性)

###### 眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

###### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(長袖)

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：不透明な赤色

臭い：フェノール臭

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度/相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性 : 該当なし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

直射日光、火気、静電気

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、硫黄酸化物

---

## 11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

rat LD50=375mg/kg (計算値)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

rat LD50=670mg/kg (EHC 161, 1994)

労働基準法: 疾病化学物質

フェノール

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

ラビット/ヒト 腐食性 (EHC 161, 1994)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

ラビット 非可逆的作用 (EHC 161, 1994)

(エタノール)

ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998 et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

cat. 1B; CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005

発がん性

[日本公表根拠データ]

(塩基性フクシン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 99, 2010 (magenta mixture) et al.)

(エタノール)

cat.1A; (IARC, 2010)

[IARC]

(フェノール)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(塩基性フクシン)  
Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
(エタノール)  
Group 1: ヒトに対して発がん性がある  
[ACGIH]  
(フェノール)  
A4(1996): ヒト発がん性因子として分類できない  
(エタノール)  
A3(2009): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明  
[日本産衛学会]  
(塩基性フクシン)  
第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質  
労働基準法: がん原性化学物質  
塩基性フクシン

生殖毒性  
[日本公表根拠データ]  
(フェノール)  
cat. 1B; CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005  
(エタノール)  
cat. 1A; human: PATTY 6th, 2012

催奇形性: データなし

特定標的臓器毒性  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)  
[区分1]  
[日本公表根拠データ]  
(フェノール)  
呼吸器、心血管系、腎臓、神経系 (CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005)  
[区分3(気道刺激性)]  
[日本公表根拠データ]  
(エタノール)  
気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)  
[区分3(麻酔作用)]  
[日本公表根拠データ]  
(エタノール)  
麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)  
[区分1]  
[日本公表根拠データ]  
(フェノール)  
心血管系、肝臓、消化管、血液系、腎臓、脾臓、胸腺、中枢神経系 (CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005)  
(エタノール)  
肝臓 (DFGOT vol.12, 1999)  
[区分2]  
[日本公表根拠データ]  
(エタノール)  
中枢神経系 (HSDB, Access on Jun. 2013)

誤えん有害性: データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に有害

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]  
(フェノール)  
甲殻類 (ネコゼミジンコ属の一種) LC50=7.83mg/L/48hr (4つ以上報告の幾何平均値)  
(エタノール)  
藻類 (クロレラ) EC50=1000mg/L/96hr (SIDS, 2005)  
水生環境有害性 長期(慢性)  
[日本公表根拠データ]  
(フェノール)  
魚類 (ファットヘッドミノー) NOEC=0.75mg/L/30days (NITE初期リスク評価書, 2007)  
(エタノール)  
甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)  
水溶解度  
(フェノール)  
溶ける (ICSC, 2001)  
(エタノール)  
混和する (ICSC, 2000)  
残留性・分解性  
(フェノール)  
急速分解性あり (2週間でのBODによる分解度:85%; TOCによる分解度:95% (既存点検, 1979))  
(エタノール)  
急速分解性あり (BODによる分解度:89% (既存点検, 1993))  
生体蓄積性  
(フェノール)  
log Pow=1.46 (ICSC, 2001)  
(エタノール)  
log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)  
土壌中の移動性 : データなし  
オゾン層への有害性 : データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

製品入り容器と同様に処分する。地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

---

### 14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号 : 2920

品名(国連輸送名) : その他の腐食性液体、引火性、N.O.S.(フェノール、エタノール)

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 8

副次危険 : 3

容器等級 : II

指針番号 : 132

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類) フェノール

有害液体物質(Z類) エタノール

**国内規制がある場合の規制情報**

船舶安全法 腐食性物質 分類8

航空法 腐食性物質 分類8

---

**15. 適用法令**

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物

エタノール(別表第9の61); フェノール(別表第9の474)

名称等を通知すべき危険/有害物

エタノール(別表第9の61); フェノール(別表第9の474); 塩基性フクシン(別表第9の549)

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係) 危険物・引火性の物(30℃ ≤ 引火点 &lt; 65℃)

腐食性液体(規則第326条) フェノール

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

第1種指定化学物質 フェノール(5.0%)[フェノール(5%)(1-349)]

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質 フェノール(5.0%)[フェノール]

消防法：非該当

化審法

優先評価化学物質 フェノール(政令番号62 人健康影響)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質 フェノール

特定物質 政令第10条第1号から第28号 フェノール

水質汚濁防止法

指定物質 フェノール 法令番号 55

---

**16. その他の情報**

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
2021 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information  
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。